

# 会 議 録

## 1 会議名

第9回上越市総合計画審議会

## 2 議題

(1) 第6次総合計画(案)について

## 3 開催日時

平成26年11月11日(火)午前10時から午前11時30分

## 4 開催場所

上越文化会館 4階 大会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者(傍聴人を除く。)氏名(敬称略)

・委員：濱祐子、荒川俊治、佐藤芳徳、志村喬、渡邊隆、蘆屋秀幸、菅文男、鈴木興次、荒井隆、市川裕光、浦野憲一、大嶋慶子、荻谷賢一、笹原茂、田中弘邦、中條委員、吉村久子、岩崎康文、上野弘、上原みゆき、御所窪賢一、松縄委員、松本美鈴

・事務局：川上企画政策部長、南企画政策課長、大島副課長、青山係長、石黒係長

## 8 発言の内容(要旨)

(1) 開会

(2) 挨拶

### 【佐藤会長】

計画案も完成度が高まってきた。審議会も第9回を迎え、活発にご審議いただいた委員の皆さんと案をとりまとめた事務局に感謝する。本日の議題は計画案の全体についてである。9月30日に市長への中間報告を行い、市では10月2日から10月31日まで、市民の皆さんから意見を寄せていただくパブリックコメントを実施したとのことである。

本日の審議の結果をもって市長の諮問に対する答申を行いたいので、よろしくお願ひしたい。

(3) 議事

第6次総合計画（案）について

【事務局（石黒係長）】

資料1～4により説明。

【渡邊委員】

総合計画案に対するパブリックコメントは今回が初めてだったのか。また、3名9件という数は多いのか少ないのか。市民説明会への参加者が155名とは開催した会場数の割に少ないのではないのか。資料2では、総務常任委員会での意見が示されているが、この資料の中で「今後の市の政策は中央集権的なのか、地域の自主権を認めていく分権的なのか」との意見については、どのような趣旨なのか。

【事務局（南企画政策課長）】

パブリックコメントの実施は今回が初めてである。3名9件という意見数については、少ないのではないのかという指摘だが、市内21会場で市民意見交換会を開催し、市民への説明を丁寧に行ってきた結果であると考えている。

また、参加者155名というのは10月2日に開催した市民説明会の参加者数であり、春と夏に行った意見交換会の延べ参加者数は市内21会場で約660名である。

【事務局（石黒係長）】

資料2に記載のとおり意見をいただいたところである。

【浦野委員】

資料2の総務常任委員会の概要には厚生産業会館について触れられていないが、これらも総務常任委員会で承認されたと認識してよいのか。市民は厚生産業会館に対する関心が非常に高いと感じている。

また、新しいクリーンセンターの建設事業については、総合計画には示されていないがどのような経過なのか。

【事務局（青山係長）】

総合計画は個別事業の実施の方向性や方針を示すものではなく、総合計画を基に個別の事業を展開していくという関係性であるので、総合計画の策定をもって厚生産業会館の建設が承認されるという関係性にはならない。

クリーンセンターの建設については、既に建設に着手している事業であるため、計画案ではクリーンセンターが建設されることを前提とした記載としている。今後

は新しいごみの処理方法の検討などが必要となる段階であると認識している。

【松縄委員】

計画案 17 頁にある体系図の政策分野別基本方針の 6 教育・文化分野に「市民の文化・芸術・スポーツの振興」という言葉があるが、スポーツについては「推進」にそろえてきたので、「振興」を「推進」に変えてほしい。

【事務局（石黒係長）】

この方針については、「文化・芸術」にもかかる言葉であるため、あえて「振興」と記載させていただいた。

【佐藤会長】

細かい点であるが、22 頁の産業経済分野の基本政策の中などに出てくる「UIターン」は「UIターン」との表記が正しいのではないか。

【事務局（石黒係長）】

検討し、一般的な表現としたい。

【笹原委員】

76 頁の農業の振興の施策の方針の 2 行目に「多様な主体」とあるが、「市民や地域団体など多様な主体」のように具体的に説明する言葉を足した方がよいと思う。

また、49 頁市民活動の促進の施策の柱「1 多様な市民活動への支援」の 2 項目には「多様な主体」と「様々な主体」という言葉が出てくるが、使い分けをしているのか。

【事務局（石黒係長）】

指摘いただいたように言葉を補うなど、できるだけ分かりやすい表現を検討したいと思う。また、「多様な」と「様々な」の使い分けについては明確な使い分けをしていないが、再度点検したいと思う。

【佐藤会長】

できるだけ分かりやすい表現を心がけていただきたい。

【松本委員】

総合計画は市の総合的な指針を示すものであることは承知しているが、やはり具体性に乏しい。今後概要版を発行し全戸配布するとのことであるが、具体性のない計画の概要版を作成しても市民にとっては親しみのない内容となってしまう、理解し難いと思う。例えば 78 頁の中山間地域の振興の施策の柱 2「農地・農村の維持」の 3 項目に「上越市ふるさと暮らし支援センター」とあるが、どんなものなのか分

かる市民は少ない。市民が困りごとを解決できるような仕組みになっておらず、市民は市の施策に対する期待が持てないのではないか。

**【事務局（青山係長）】**

計画の具体性に関しては、市の総合的な指針を定める計画であるという性格上、個別具体的な事業についての掲載はしていない。ふるさと暮らし支援センターは市外の方向けの相談窓口であるが、周知不足については担当課に伝えたい。

また、中山間地域向けのガイドブックは市で発行しているが、その周知も併せて担当課に伝えたい。

**【松本委員】**

中山間地域向けのガイドブックがあることは分かったが、今後事業を分かりやすくしたものなどを周知していくのか。

**【事務局（青山係長）】**

中山間地域振興関係は、新年度予算公表時に関連事業一覧をまとめ、公表している。また、中山間地域振興関係の事業に限らず、毎年市の予算が確定後、各担当課において事業内容についての公表を行っているが、市民の目に十分に触れていない点は反省点として受け止めたい。

**【岩崎委員】**

市長の掲げる「市民が主役」「市民がど真ん中」という公約をもっと実現させてほしい。今回パブリックコメントの意見数が3人と少なかった原因には、意見を出しづらい土壌も関係していると思う。計画の性格上具体性に乏しいとはいっても、ある程度具体性がないと市民は意見を出すことができない。市民から色々な意見が出るよう市民への説明はもっと丁寧に行うなど体制を整えてほしいと思う。

**【事務局（石黒係長）】**

パブリックコメントの意見数は少なかったとの意見だが、それに至るまでの意見交換会で多くの意見をいただいております、それらが策定作業に反映されている。

市政は大変幅広いため、市民の皆さんにいかに効果的に伝えられるかは課題である。自治基本条例に基づく仕組みも設けているが、市民との情報共有の重要性を踏まえて総合計画を策定している。

**【事務局（川上企画政策部長）】**

概要版などできる限り市民に分かりやすく説明できるようにしたい。総合計画は市民の皆さんと共に進めていくべき計画であるので、計画について考える機会を作

る必要もあると思う。いただいた意見は真摯に受け止めたい。

【上野委員】

基本計画部分のページには施策をイメージした写真を入れるとのことであるが、イメージ写真は読む人にとって計画の印象を左右する非常に重要な部分である。

【事務局（石黒係長）】

イメージ写真には市の施策やそれに関係する市民の活動、施設の写真など各施策を分かりやすくイメージできる写真を選定したいと考えている。今回の業務支援を受けているコンサルタントからの助言ももらいながら、分かりやすい写真を入れることを心掛けていきたい。

【大嶋委員】

63頁の「こころと体の健康の増進」の目標値の項目に「血液検査の結果、治療・生活指導が必要な児童・生徒の割合」とあるが、血液検査の受診は任意であり受診率が低いため、受診率の目標値を入れてほしい。

【事務局（石黒係長）】

担当課に確認したい。

【荒川委員】

資料2の(4)その他の【基本計画：第2章 5 地域自治の推進】にある「中央集権的な」とはどういう意味か。

【事務局（青山係長）】

言葉どおりの意味であるが、市の施策の方向性としては、市全体で考えるべきことは市全体で考え、地域ごとで解決すべきことは地域ごとで解決するといったように、事例により対応の仕方が変わるものと考えている。

【佐藤会長】

他に意見がないようなので、最後に委員の皆さんから一言ずついただきたい。

【荒川委員】

三つの共通課題を基つき、住みよい上越市よりも多くの人が戻ってくる上越市を目指すべきである。

【志村委員】

第6次総合計画（案）は、完成度の高いものになったと思う。これから市民に提示していくことになるが、2点申し上げたい。上野委員がこれから計画に載るイメージ写真やイラスト等が大切になると言及していたが、写真は上越市の写真を使用

するのか。目指す理念や理想像があるわけなので、市の写真で適切なものがなければ、国外を含めて市外の写真等を使用しても良いと考えている。また、イラストは分かりやすいが、現実味がなくなるおそれがある。現実味を持たせることで市民の活力につながってくる。

2点目だが、最上位の総合計画の下に、都市計画マスタープランを始め様々な計画があるわけだが、それらの下位の計画との関連性が見えにくい。今後説明をしていく上での課題だと考える。

**【渡邊委員】**

完成度の高いものになった。パブコメを含め、計画に対する評価が同時に私たち委員の議論への評価になると考えている。実際にどのように計画が運営されていくか注意深く見ていきたい。

**【蘆屋委員】**

全9回の審議会の中で様々な意見が出た。高田河川国道事務所として関係する部分については努力していきたい。今後は市民に対してどのように周知していくかが大切である。

**【菅委員】**

人口減や財政難など非常に大きな課題について取り組む計画である。市民の声をよく聴いて行政運営を進めていただきたい。

**【鈴木委員】**

今後、市民に理解してもらおうと同時に市民と意見交換しながら計画を進めていくことが重要である。計画に記載してある内容に凝り固まらずにフレキシブルに進めていただきたい。

**【荒井委員】**

上越市老人クラブ連合会の副会長として、自分も頑張っていきたい。高齢化対策は引き続き市に期待したい。

**【市川委員】**

あらゆる分野の課題、現状、取組や展望を学ぶ機会をいただき感謝している。今後総合計画をいかに発信し、市民の隅々まで浸透させていくかが重要である。

**【浦野委員】**

6月より委員を務めさせていただいたが、自分が思っていることを自由に発言させていただいた点について感謝している。

【大嶋委員】

様々な分野の話を聴いて大変勉強になった。PTAの代表として意見を出すことができ良かったと感じている。市についてまだ知らないことが多くあったので、もっと知りたいと思ったと同時に、周囲の人にももっと市について知ろうと宣伝していきたいと思う。

【荻谷委員】

総合計画は非常に幅広い内容であるが、今後市民に知ってもらい、PRしていくことが必要であると思う。

【笹原委員】

計画案に対し意見を出すのは簡単であるが、反映させまとめるのは大変であったらと思う。

【田中委員】

今回の策定作業では、美辞麗句の議論ではなく内容の議論に重きが置かれていたが、現実的な考えに立ち、課題をよくとらえており、評価できる点であると思う。今後計画をどう生かしていくかを考えてほしい。

【中條委員】

今後計画が市民に浸透し、反映され、設定した目標などが形になっていくことを大事にしてほしいと思う。自分も市民として「市民の皆さんへ」の呼びかけの部分を受け止めていきたいと思う。

【吉村委員】

審議会委員に任命されるまでは総合計画について知らなかった。高齢者が抵抗なくやさしく読めるものとしていただきたい。

【岩崎委員】

市のホームページで総合計画審議会委員の市民公募枠があることを知り応募した。まちの将来に関心を持っていたところだが、意見を反映できる会議に参加できてよかった。総合計画が市政に反映され、明るく素晴らしい上越市になるように協力したいと思う。

【上野委員】

審議会委員として良い時間を過ごすことができた。計画に掲載する写真は市内のものだけでなく、総合計画が身近に感じられるものにしてほしい。市民が夢と希望を持てるようなものとしてほしいと思う。

#### 【上原委員】

板倉区での意見交換会では、他の参加者から市政に対する関心と熱い気持ちを感じた。他の会場でもそうだったのだろうと思う。市民説明会での意見などが反映され、多くの市民の思いがまとめられた計画になったと思うと感動した。今後も様々な面で勉強したい。

#### 【御所窪委員】

計画はよくまとめられたと思う。審議会を通して自分の視野を広げることができた。今後具体的に計画が実行に移されていくと思うが、4年後の見直し、その実績をもとにした後期の4年間をいかに有効に利用していくかを意識して施策を進めてほしい。

また、市民に計画を読んでもらうためにはある程度漫画的に表現するなど工夫も必要である。

#### 【松縄委員】

スポーツ分野は政策との関わりが弱い印象を持っていた。スポーツは様々な分野に関わることからスポーツを生かしたいと思い、審議会を通して意見させていただいた。資料を読み込んだり様々な人から話を聴いたりすることで大変勉強になった。

計画について行政内部で異なった理解がなされぬよう、市職員自身が読み込み理解した上で発信してほしい。

#### 【松本委員】

審議会では多くの資料が配布されてきて大変だったが、それだけ苦労して資料を作った努力に感謝したい。市民が百科事典のように読める総合計画としてほしい。

#### 【濱委員】

あらゆる立場の方々の意見を聴くことができ、大変勉強になった。教育委員として一層頑張りたいと思った。教育分野の内容は理解できても、その他の分野は言葉だけでは理解できない部分もあった。イメージ写真などで工夫し、読んでみたいと思うようなレイアウトにしてほしい。

#### 【佐藤会長】

委員の皆さんに深く感謝する。計画は市民とともに実施していただきたいと思う。

本日の意見等を踏まえ、事務局で計画案の修正を行い、私の方で確認を行った上で市長への答申を行うこととしてよろしいか。



**【全委員】**

了解。

4 その他

**【事務局（大島副課長）】**

今後の予定として、11月14日に市長への答申を行っていただき、12月の定例議会に議案として上程する。議決後、冊子として発行し、3月15日号の広報上越と合わせて概要版を全戸配布する予定である。

(9) 閉会

**【事務局（川上部長）】**

これまで精力的に審議いただいた委員の皆さんに感謝申し上げます。12月議会で議決された後には、計画をもとに将来都市像の実現に向け市民の皆さんとともに市政に取り組んでいきたいと思う。

長期間にわたり審議いただいたことを心より感謝申し上げます。

9 問合せ先

企画政策部企画政策課企画政策係

TEL：025-526-5111（内線 1452）

E-mail：kikaku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。